

科目番号	25-6372	科目群	展開先端				
授業名	知的財産法						
担当教員	田村 善之						
種別	選必	単位数	4	年次	2・3	学期	S
<p>授業の目的・ねらい・進め方</p> <p>知的財産法、なかでも特許法と著作権法について、法曹として最低限必要と思われる基礎的な知識を習得するとともに、各種の制度の趣旨や論点について学ぶことにより、将来、実務で活躍するために必要となる応用力を涵養することを目的とする。</p> <p>授業は、初回は、イントロダクションとして、知的財産法の初学者のために、総論として、まず知的財産法の対象となる知的財産の特殊性、有体物と異なる点を解説し、そのうえで、知的財産法の基本的な発想の仕方を講義する。</p> <p>以降の授業は大別して、前半の特許法編と、後半の著作権法編に分かれる。</p> <p>前半の特許法編は、田村善之＝清水紀子『特許法講義』(公刊予定・弘文堂)、後半の著作権法編は、田村善之＝平澤卓人＝高瀬亜富『プラクティス知的財産法Ⅱ著作権法』(2020年・信山社)を教科書とする。</p>							
授業の構成							
第1回 知的財産法総論							
第2回 (特許法) 特許制度の意義							
第3回～第5回 (特許法) 特許が認められるための要件							
第6回～第7回 (特許法) 特許付与の手続き							
第8回～第12回 (特許法) 特許権侵害の成否をめぐる攻防							
第13回～第15回 (特許法) 特許権の経済的利用							
第16回～第17回 (著作権法) 著作物性							
第18回～第23回 (著作権法) 著作権侵害の成否							
第24回～第26回 (著作権法) 著作者							

授業の方法	①双方向的授業を中心に行う ②その他（ ）
教材等	<教科書> 田村善之＝平澤卓人＝高瀬亜富『プラクティス知的財産法Ⅱ著作権法』(2020年・信山社) <参考書> 田村善之＝時井真＝酒迎明洋『プラクティス知的財産法Ⅰ特許法』(2020年・信山社)
成績評価の方法	筆記試験を行う 1. A方式(2時間)
	平常点を考慮する
	レポートを課さない
	成績を A+・A・B・C+・C-・Fで評価する
開講年度 (予定)	1. 毎年開講